観光経済

国際的観光地について

質問　十和田湖等へはどこの国からの観光客が多いのか伺いたい。

　また、国際的観光地を目指し、外国人に対する観光案内ガイドの養成の計画があるか伺いたい。

答弁　外国人の本市への入り込み数は平成十六年度で三万三千九百十人で、その内訳は韓国が約一万二千人、台湾が約一万人、その他となっている。

　また、観光案内については、十和田湖・奥入瀬渓流観光ガイドとして活躍中の十和田湖奥入瀬観光ボランティアの会には英語を話せる方の登録はないため、今後は市内居住の英語を話せる方、県内の大学生及び国際交流関係団体と連携し、英会話のできる人材の発掘や養成をしていきたい。

観光基本計画について

質問　観光基本計画策定の時期とその内容について伺いたい。

答弁　この計画は、平成十七年度中に策定することになっており、内容については十和田湖、奥入瀬渓流、それから八甲田連峰を主体に、一人でも多くの方に来てもらい、滞在していただき、さらにリピーターとなっていただくことを基本に新市まちづくり計画を踏まえて策定していきたい。

観光の重要な拠点施設となる
道の駅「奥入瀬ロマンパーク」

十和田湖総合観光センターについて

質問　観光センターの建設計画と建設年度を伺いたい。

答弁　国では現在休屋地区にビジターセンターの整備計画があるようで、観光センターはこのビジターセンターと併設して建設するのが観光客にとっても望ましいと考える。

　しかし、過疎地域自立促進計画に盛り込まれているこの観光センターの建設については、まだ具体的なものにはなっておらず、建設年度や事業費も含めて今後早急に検討し、また、県に対しても、より魅力的な施設となるよう要望していきたい。

十和田湖ふるさと活性化公社について

質問　十和田湖ふるさと活性化公社の経営状況は必ずしも良い状態ではないと聞くが、公社への出資者として今後の経営状況への対応対策を伺いたい。

答弁　平成十六年度において約八百万円の赤字決算については、その大きな要因として、十和田湖への観光客の減少がろまんパークを訪れる観光客の減少につながったものと報告を受けている。

　市としてもろまんパークは観光の重要な拠点施設であるとの認識のもとに公社と連携を図りながら、観光PRなどのあらゆる機会を捉え、これまで以上に誘客促進のための支援をしていきたい。

　また、公社としても、営業努力はもとより、給与や職員数等については経営状況等を勘案しながら、その適正化と効率的な運営に努めていかなければならないものと考える。

　市としては、第一出資者として常に公社の経営状況の把握に務め、経営に直接参加するため、公社の理事会、評議員会に参画することも検討していきたい。

十和田湖水の水質基準について

質問　十和田湖の水質調査での汚濁度はどのような推移で保たれてきているのか。

　また、十和田湖における土産品としてブランド化されていると思われるヒメマスの生態系を維持するための問題等を伺いたい。

答弁　湖の汚れの度合いを示す数値の一つに科学的酸素要求量というものがあり、これをみると十和田湖は昭和六十一年度以降、法律で定める環境基準を達成できない状況が続いている。

　また、昭和初期には二十メートル以上あったとされる透明度も最近は十メートルを切るまでに低下し、ヒメマスの漁獲量も昭和六十年度以降不安定となってきている。

　湖の水質悪化の一因として考えられる生活排水の流入については、下水道の接続率が青森県で九二・九%、秋田県で七五・四%と普及し、大部分は解消されているが、一部ではまだ流入していると聞いている。

　ヒメマスの生態系を維持していくための問題としては、主なものにはヒメマスの主要なえさであるプランクトンの出現が、平成十年の一時的出現を除き、昭和六十一年以降ほとんど出現していない状態が続いている。

　また、青森地区での東北電力の逆送水（注）がヒメマスの自然卵床を損壊しているということを漁業関係者は指摘している。

日本で第3位の深さ（327m）を誇る
十和田湖　その透明度は……

（注）
逆送水とは…
　発電用に湖から取水した水を湖の水位を下げないために使用後、再び湖に戻す方法のこと

和牛改良促進事業について

質問　この事業の具体的な内容を伺いたい。

答弁　青森県の肉用牛の生産基盤の安定を図るため、青森県畜産農業協同組合連合会が事業主体となり、第一花国の産子である優良雌子牛の保留を促進する平成十六年度から二十年度までの五カ年の継続事業である。保留の対策として地域内保留と特別保留枠の区分が設定されており、地域内保留は県全体の年間保留頭数を百頭とする計画で、地域内の和牛改良組合が保留する場合、保留促進助成金として一頭当たり十万円が交付され、特別保留は県全体の年間頭数を二十頭とする計画で、県家畜市場上場子牛の中から特に優秀な雌子牛に対して一頭当たり二十万円の保留促進助成金が交付されるものである。